

2023年度後期「企画に対する学生評価」

科目全体の講義企画に対する学生評価

あなたの履修態度について	問1 事前に履修要項や教科書を読むなど予習をしましたか。
	問2 授業に毎回出席しましたか。
	問3 授業中に授業内容を理解するための努力をしましたか。
	問4 授業の復習・宿題を毎回しましたか。
目的の達成	問5 科目全体の到達目標を最終的に達成することができましたか。
科目内容	問6 あなたにとって科目全体の難易度は適切でしたか。
	問7 科目を履修することで、今後の学習意欲は増しましたか。
総合評価	問8 この科目は全体として満足できるものでしたか。

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強くそう思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：医学英語 I A

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：95 配付数：91 回収数：89 回収率：97.8%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
3.9	4.3	4.3	3.5	4.0	3.9	4.0	4.3

*評価に対するコメント

医学英語 I A 担当教員

一年間お疲れ様でした。英文を読む際に大切なことは「一見では理解できていると思われる簡単な表現でもそれが何を意味しているのか立ち止まって考える、そして調べる」ことであると何度も伝えようとしていたつもりです。今後の英語学習で重要になってくることは、主体的に読んで情報収集できるようになること、読むことでインプットした英語の表現をアウトプットできるようになることです。それらを意識して努力を継続してください。

科目名：医学英語 I B

(医学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：94 配付数：79 回収数：79 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
3.0	4.1	4.4	3.4	4.3	4.3	4.2	4.5

*評価に対するコメント

医学英語 I B 担当教員

This year`s first-year medical students performed far above average in the 2023-2024 school year. They were enthusiastic and worked extremely hard. The pandemic has shown us how interconnected our world is and while that has some obvious drawbacks, it has also shown the importance of using English in co-operating with people around the world. This year`s students performed extremely well in their speaking tasks and worked together well in groups. I hope they can use the skills they have learned and make a valuable contribution to health care in Japan and around the world.

科目名：医用物理学

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：94 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.0	4.3	3.7	3.2	3.8	3.8	3.4	3.8

*評価に対するコメント

医用物理学担当教員

総合評価（問8）は3.8（ここ数年は 4.0 ± 0.2 ）であった。物理初学者や不得意学生など、講義開始時点で学生の知識に大きな差がある科目の一つだ。その点を踏まえると無難な評価と思われる。問1と問4の評価が例年に比べ ~ 0.7 下がった。問1は従来の「講義資料」から「履修要項」を問う内容へと変更された点、問4では「宿題」の追加が影響したと思われる。全学生とは言わないまでも、多くの学生に満足してもらえる講義内容を目指す。

科目名：基礎化学

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：91 回収率：96.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.8	4.2	3.7	3.5	3.9	3.8	3.7	3.9

*評価に対するコメント

基礎化学担当教員

基礎化学では医学科2年生で学ぶ生化学 I、生化学 II、薬理学、生理学実習・演習につながる内容や、臨床検査の測定原理と関係する内容を講義していました。講義内容の理解とするために、レポート課題を出し、解答例も提示しました。定期試験は前期と後期で合計4回の試験を実施しました。レポート課題では提出が遅れた方が散見されましたので、今後、提出物の締切には十分注意していただきたいと思います。基礎化学ではできるだけ分かりやすい講義資料を作成することを心掛けていますが、皆さんには講義資料だけで満足することなく、医学とどう関係するかについて積極的に学んでいただきたいと思います。学年に関係なく化学教室に質問に来てください。

科目名：発生遺伝学

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：95 配付数：84 回収数：81 回収率：96.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.8	4.2	3.7	3.0	3.6	3.6	4.0	4.1

*評価に対するコメント

発生遺伝学担当教員

本年度の「発生遺伝学」につきましては、令和4年度までの「人体発生学分野」講義担当者1名の退職のため、講義内容の再検討を兼ねて新たに講義資料を作成しました。学生からは「人体発生学分野」の講義資料にもう少し文章で説明があると学修しやすい、というコメントをいただきましたので検討いたします。

科目名：データサイエンス

(医学科第1学年後期／必修)

履修者数：93 配付数：73 回収数：72 回収率：98.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.4	4.4	3.2	2.9	3.3	3.6	3.2	3.6

*評価に対するコメント

データサイエンス担当教員

講義の難易度に関しては、概ね適切だったように感じます。この講義は、本来情報処理室で行うべきだと思いますが、収容人数の都合で実現できなかったのは残念です（この点について指摘した学生がいました）。今回はエクセルを取り入れてみましたが、初歩的すぎる内容だったかもしれません。次年度はプログラミングの方を充実させて内容のバランスを取れればと思います。また manaba に講義資料を載せるタイミングが講義前ではありますが遅かったので、予習がしづらかったと思います。次年度はこの点を改善したいです。

科目名：症候学

(医学科第1学年通年／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：94 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.7	4.2	4.1	3.6	4.1	4.1	4.4	4.4

*評価に対するコメント

症候学担当教員

学習意欲の向上については4.4/5、満足度も4.4/5と、1学年の早期に臨床医学を学ばせる目的は充分果たせているものと判断している。授業形式も反転授業、アクティブラーニング形式で行っており、学習意欲と満足度の向上につながっていると考えられる。

科目名：医学英語ⅡA

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：97 配付数：74 回収数：62 回収率：83.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.3	4.1	3.1	3.9	3.9	3.9	4.1

*評価に対するコメント

医学英語ⅡA 担当教員

医学英語の読解力を培うとともに、医学英語論文の構成に基づく読解ができるようになることを意図していました。授業の意図を汲み、毎回の授業課題にしっかり取り組んでくれたという印象を持っています。課題の量を調整したため、少し物足りないといった印象を持った学生さんもいたようです。優秀な学生が多い学年だと思います。将来に期待しています。

科目名：医学英語ⅡB

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：97 配付数：94 回収数：45 回収率：47.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.0	4.5	4.3	3.4	4.3	4.2	4.2	4.4

*評価に対するコメント

医学英語ⅡB 担当教員

The second-year students worked extremely hard during the 2023-2024 school year. Students showed a high command of English in their ability to communicate with me and with each other. As future doctors, they will need this ability in international conferences, which are now being held again after 3 years of the pandemic. The second-year students already have a good command of English, but I hope they will continue to improve their English abilities. From what I have seen of the second-year students, I am confident they will become doctors with high levels of English proficiency.

科目名：分子生物学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：88 回収率：93.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.1	4.2	3.8	3.1	3.8	3.7	3.9	4.1

*評価に対するコメント

分子生物学担当教員

令和5年度は、医学科第2学年での「分子生物学」の最初の講義の年となりました。講義を担当する教員も変わり、慣れない部分も多少ありましたが、特に大きなトラブルもなく終えることができました。次年度以降はより分かりやすい講義となるように工夫していきたいと思えます。その一環として、令和6年度からは、教科書を「Essential 細胞生物学」に変更します。これから、分子生物学の知識や技術は益々身近になるので、学生の皆さんには、応用の利く知識を身に付けるためにも、知識が体系化された教科書を通読することをおすすめします。学生の皆さんからのフィードバックはとても役に立つので、質問などがある場合は積極的に聞いてください。

科目名：医療概論Ⅱ

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：89 回収率：91.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.3	4.2	3.9	3.5	4.0	4.0	3.9	4.1

*評価に対するコメント

医療概論Ⅱ担当教員

生命倫理や臨床倫理に適切に対応できることが求められています。医療概論Ⅱでその基礎を学んだと思いますが、その他、社会学、衛生・公衆衛生学、臨床実習などで適切にupdateをしていってください。

科目名：機能形態基礎医学Ⅱ

(医学科第2学年通年／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：93 回収率：92.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.3	4.0	4.0	3.2	3.8	3.6	4.1	4.1

*評価に対するコメント

機能形態基礎医学Ⅱ担当教員

機能形態基礎医学Ⅱは病態の理解の前提として必要な基礎医学知識を広く学ぶため、とにかく講義に出て理解をしてもらおうと各担当教官が様々な工夫を凝らしています。学習項目によっては実習との連携を前提とした授業構成など学生から好感触が得られた試みもあります。その甲斐あってか、満足度は昨年度よりわずかですが高く(4.1)手ごたえを感じています。今後も「講義に出る、出たからには理解してもらおう」というスタンスを崩さずにブラッシュアップしていきたいと考えています。

科目名：微生物学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：98 配付数：92 回収数：58 回収率：63.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.3	4.5	3.7	3.2	3.7	3.8	4.0	4.1

*評価に対するコメント

微生物学担当教員

1名から講義であてられるのが苦だとの意見がありましたが、その理由を聞かせてほしいです。授業中に別のことをしているからでしょうか。

科目名：寄生虫学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：80 回収率：82.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.2	4.3	3.9	3.2	3.8	3.8	3.9	4.0

*評価に対するコメント

寄生虫学担当教員

寄生虫学は中間宿主、終宿主、媒介生物など多種にわたる生物の複雑な相互関係を学ばなければなりません。そのため、文章のみでは説明しづらい箇所は、図などを多用し講義を行っています。また、動画も多用し、より深く理解してもらうように務めています。科目全体に対する満足度は4.0でした。今後も、学生の知識欲を高めるような講義にしたいと考えています。今後も、学生の知識欲を高めるような講義にしたいと考えています。

科目名：薬理学

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：93 回収率：95.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.8	4.2	3.7	2.9	3.4	3.1	3.8	3.9

*評価に対するコメント

薬理学担当教員

病気の治療に欠かせないのが薬物です。薬物が体内ではたらく基本的なしくみを学ぶのが薬理学です。薬理学は難しい、覚えることが多くて大変、という感想もいただいておりますが、できる限り明快に、そして、楽しく聞いていただけるような講義を心がけています。本授業評価には、受講した96%の学生の皆さんから回答をいただき、科目の満足度は3.9(5点満点)でした。多くの皆さんになるほど、とっていただける講義となるように、今後もアップデートを続けていきます。

科目名：基礎医学特論

(医学科第2学年後期／必修)

履修者数：97 配付数：75 回収数：50 回収率：66.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.3	4.7	4.1	3.6	4.1	3.9	4.1	4.1

*評価に対するコメント

基礎医学特論担当教員

基礎医学特論は、基礎医学講座の各講座の研究内容についてそれぞれの講師に紹介していただくオムニバス形式の講義として実施しました。講義内容が多岐にわたり、また、最新の研究内容の紹介で有ったため、理解が難しいのではないかと心配しましたが、科目全体にたいする満足度は4.1で、良好な評価を頂きました。研究内容を十分に理解することは困難だと思われませんが、いろんな分野の講義を聴くことで今後の学習への刺激になれば、と思います。

科目名：医療概論Ⅲ

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：113 配付数：105 回収数：85 回収率：81.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.9	4.1	4.0	3.8	4.1	4.1	4.0	4.0

*評価に対するコメント

医療概論Ⅲ担当教員

学習意欲の向上については4.0/5、満足度も4.0/5と高い評価を受けた。補完医療として、漢方について学習する機会を提供しており、各診療科が、それぞれの現場で使用する漢方について講義・演習を行っている。今後もこの形式で授業を継続する。

科目名：選択必修コース I 「臨床遺伝学コース」

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：6 配付数：6 回収数：6 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
4.5	4.5	5.0	4.5	4.5	4.7	4.8	4.8

*評価に対するコメント

選択必修コース I 「臨床遺伝学コース」 担当教員

臨床遺伝学は、基本2コマの中で、コアレクチャーが10分、時間内学習が60分、ロールプレイセッション50分です。令和4年改訂版医学教育モデルコアカリキュラムの「臨床遺伝」を網羅する構成になっています。そのため遺伝学的情報をどこから収集するか？情報伝達の方法（患者さんの立場と医師の立場）を経験できるよう配慮しています。

新カリキュラムの年次進行により、この構成での臨床遺伝学は、令和5年度が最終になります。今年の履修者は6名でしたが、授業評価ではこれまで最高の4.8を得ることができました。

科目名：選択必修コース I 「生体構造機能蛋白・病態解析コース」

(医学科第 3 学年後期／選択必修)

履修者数：88 配付数：64 回収数：34 回収率：53.1%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
3.3	4.8	3.5	3.1	3.7	3.9	4.0	4.1

*評価に対するコメント

選択必修コース I 「生体構造機能蛋白・病態解析コース」担当教員

選択必修 I 「生体構造機能蛋白・病態解析コース」は、タンパク質科学の基礎から応用までを、複数の教員によるオムニバス形式で学ぶ構成となっています。本年度は 88 名が受講し、授業評価には 64 名が協力してくれました。評価の結果、本科目の満足度は 4.1 (5 点満点) であり、多くの学生の皆さんに興味を持って聞いていただけたと思います。疾患の原因の多くはタンパク質の異常であり、新たな知見も次々と得られています。今後もアップデートしながら、最新の知見を盛り込んだコースをめざします。

科目名：選択必修コース I 「救急・プライマリケアコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：19 配付数：19 回収数：19 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.8	4.9	4.9	4.7	4.8	4.5	4.7	4.7

*評価に対するコメント

選択必修コース I 「救急・プライマリケアコース」 担当教員

救急科では、できるだけ座学を少なくして、実践的な実習やシミュレーション教育に力を入れています。本コースでは、事前学習をしなかった割合が高かったにもかかわらず、満足度は比較的高いという評価をいただきました。今後もコンテンツをアップデートして、皆様が楽しく学べる講義を提供していきたいと考えています。

科目名：選択必修コースⅡ「感覚器医学の最先端コース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：108 配付数：94 回収数：52 回収率：55.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.6	4.5	3.8	3.1	3.9	4.0	3.8	4.0

*評価に対するコメント

選択必修コースⅡ「感覚器医学の最先端コース」担当教員

感覚器医学の最先端コースの学生評価をいただきました。問5～問8はおおむね平均4.0の評価であり、おおむね満足してもらえていたと考えています。

科目名：選択必修コースⅡ「EBM・CPCコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：5 配付数：4 回収数：4 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
4.5	5.0	4.5	4.5	4.8	4.0	4.3	4.3

*評価に対するコメント

選択必修コースⅡ「EBM・CPCコース」担当教員

EBM/CPC コースは前半のEBMと後半のCPCコースで構成されている。選んだ学生は5名とこれまで同様に少数であったが、各人が目的を持って授業に臨んでいた。目的の達成に関しては4.8と満足できるものであり、これまでと同様であった。今後evidenceに基づく医療の実践は全員に求められるものであり、CPCの考え方は深い医療をする上で大変に重要である。今後の長い医師人生に参考になれば幸いである。

科目名：選択必修コースⅢ「臨床薬理学コース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：71 配付数：71 回収数：30 回収率：42.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.6	4.6	3.4	2.7	3.4	3.9	3.6	3.5

*評価に対するコメント

選択必修コースⅢ「臨床薬理学コース」担当教員

選択必修Ⅲ「臨床薬理学コース」は、各臨床科の教員によるオムニバス形式で進めています。本年度は71名が受講し、授業評価には30名が協力してくれました。評価の結果、本科目の満足度は3.5(5点満点)と平均的でした。本科目の内容は臨床に即したものとなっていますが、早い段階で応用に触れる機会として活用していただきたいと思います。今後も、最新の知見を盛り込んだ講義からなるコースをめざしていきます。

科目名：選択必修コースⅢ「ニューロサイエンスコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：27 配付数：26 回収数：16 回収率：61.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.7	4.7	4.4	3.2	4.1	3.9	4.2	4.1

*評価に対するコメント

選択必修コースⅢ「ニューロサイエンスコース」担当教員

20年程度続いた「ニューロサイエンス」コースも今年度が最後となりました。開講当初は国内の著名な先生方を招いて「最新のトピックス」や「神経学」に関わる興味深い話を聴講する機会に恵まれました。しかし、次第に本コースの受講生が減少したことを鑑み、今年度でこのコースは終了することになります。そして、最後となった本コースに対する学生さん方からの評価は、全体で4.1/5.0でした。また、「時期を1か月早めていただければさらに興味深い授業に集中できると考えます」という唯一のコメントを戴きました。教育の難しさを改めて考えさせられます。

科目名：選択必修コースⅢ「糖尿病・内分泌Up・Dateコース」

(医学科第3学年後期／選択必修)

履修者数：15 配付数：8 回収数：8 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.9	4.9	4.3	4.0	4.0	3.8	4.5	4.7

*評価に対するコメント

選択必修コースⅢ「糖尿病・内分泌Up・Dateコース」担当教員

糖尿病・内分泌疾患に関連した最先端医学知識を、解剖学、生化学、薬理学、内科学、小児科学、産婦人科学、腎泌尿器外科学、整形外科学、眼科学、臨床検査医学の多角的視点から学習する選択コースである。学生は自学自習では得られない最新科学情報に触れ、全体満足度は4.7点と評価は高い。

科目名：腫瘍学 1

(医学科第 3 学年後期／必修)

履修者数：113 配付数：112 回収数：111 回収率：99.1%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
3.4	4.0	4.0	3.5	3.9	3.9	4.0	4.1

*評価に対するコメント

腫瘍学 1 担当教員

当講義は、悪性腫瘍に関わる基礎医学、臨床医学の各分野エキスパートの先生方から、多角的、多面的に腫瘍に関する知識を学び、理解してもらうことを目指しています。様々な教室の先生方から講義していただくことで、多様性が得られる反面、授業間の連続性をとることが難しいことについて、ご理解いただきたい。テスト結果は良好で、皆さん頑張ってくれたと思います。

科目名：生体調節医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：115 配付数：105 回収数：85 回収率：81.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.9	3.9	3.9	3.8	3.9	3.8	4.0	4.0

*評価に対するコメント

生体調節医学担当教員

生体調節医学は、糖尿病、内分泌、腎泌尿器疾患に関して、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、泌尿器科、小児科、耳鼻咽喉科の各所属教員により開講されている。本年度は、出席に関する自己評価点も含め、学生からの評価点がほぼ均等に3分の1ずつに分かれているのが特徴である。学生間に学習に対する意識が異なる3群が存在する。

科目名：生体防御医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：113 配付数：105 回収数：85 回収率：81.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.8	4.0	3.9	3.7	3.9	3.9	3.9	4.0

*評価に対するコメント

生体防御医学担当教員

免疫 感染症 血液疾患を扱う本コースは、臨床医学でも重要な位置を占めることは間違いない。全体として評価は4.0と改善の余地がある。気になるのは、予習したか？復習したか？の項目が3.8、3.7と高くないことであり自発的な学習が十分でないことを危惧する。

科目名：精神・神経病態医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：113 配付数：113 回収数：97 回収率：85.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.6	3.9	3.9	3.6	3.7	3.6	3.9	3.9

*評価に対するコメント

精神・神経病態医学担当教員

該当教官、および該当科の講座担当者には指摘事項を伝達し、来年度に向けた改善をお願いしました。

科目名：感覚器病態医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：99 回収率：87.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.1	3.8	3.7	3.1	3.8	3.6	3.8	4.0

*評価に対するコメント

感覚器病態医学担当教員

本年の当講義に対する学生からの評価は回収率が 87.6% (99/113)、レーティングが 3.1 ~ 4.0 でした。前回よりも回収率が高くなっており、関係者の方々の努力と学生の関心の高さが伺える結果と考えます。大変嬉しく思います。また、レーティングに関しても特に科目満足度は 4.0 であり、感覚器病態医学に興味を持って下さる学生が多いのかもしれないと勝手に喜んでおります。また、学生からの声として ” 授業とテストの差が激しい ” というご意見を頂きました。今後は授業とテストの整合性をより持たせるように努力していきたいと思っております。

科目名：生殖発達医学

(医学科第3学年後期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：75 回収率：66.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.0	3.9	3.4	3.8	3.6	4.1	4.1

*評価に対するコメント

生殖発達医学担当教員

本コースでは、ヒトの初期発生から子どもの発育・発達というダイナミックなプロセスを学び、その病的状態を内科的あるいは外科的視点から理解できるように構成されている。昨年度の科目全体に対する評価は、3.7でしたが、今年度は、4.1と改善している。「丁寧な講義で良かったです」という感想も頂いており、今後も受講者が自ら学ぼうと興味を持てるように準備したいと思います。

科目名：英語 I A

(看学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
4.3	4.7	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3

*評価に対するコメント

英語 I A 担当教員

英語力に個人差があるばかりでなく、英語を苦手と感じている学生もかなりの割合を占めていたため、少し不安でした。実際には、しっかり課題に取り組み、十分な成果を示してくれたと感じています。確認テストの正答率も高いという点が強く印象として残っています。

科目名：英語 I B

(看学科第 1 学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：57 回収数：57 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
3.4	4.7	4.6	3.8	4.4	4.5	4.3	4.5

*評価に対するコメント

英語 I B 担当教員

I was very impressed with the first-year nursing students in the 2023-2024 school year. It's wonderful that the pandemic is over and that students were able to communicate and interact as before. All the students did very well, completing their assignments on time and many students did some exceptional work. I hope students will be able to use the English they have learned for both work and travel. English will continue to be indispensable in all areas of healthcare and I hope students will continue to study and use English.

科目名：形態機能学

(看学科第1学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.7	4.6	4.2	4.0	4.0	4.1	4.3	4.4

*評価に対するコメント

形態機能学担当教員

学生の評価はコロナ禍以降これまでに比べ高評価が続いており、特に全体の満足度（問8）は本年度も満足のいく評価となっている。また授業の難易度の評価が4.1と改善が見られている。各教員の努力の結果と受け止めている。自由記載は1つのみであり、問題集の問題が多い、定期試験の問題数が少ない、といったものであった。これらは例年指摘を受けるものであるが、問題集については改訂の必要性は認識しており改善に努めたい。

科目名：生化学

(看学科第1学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.7	4.2	3.8	3.9	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

生化学担当教員

生化学は①分子的な側面からの理解と②統合的な理解の2点が必要になってくるため、重要な点に絞って、分子機構をできるだけ省略せずに講義を行っている。今年度は学生評価アンケートの回収率が100%の中、満足度や授業中の授業内容理解への努力は4を超えており、その点は良かった。一方、昨年少かった予習と復習(共に3.2)が、今年度は、予習(3.4)や復習(3.8)と向上していたが、改善の余地はある。今後も、より良い講義になるように改善していきたい。

科目名：病理学総論

(看学科第1学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：59 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.8	4.6	4.4	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4

*評価に対するコメント

病理学総論担当教員

新カリキュラム5年目を迎えた病理学総論ですが、コロナ禍も明けて本年度は全て対面授業となりました。全体の満足度のスコアは4.4ポイントと例年並みで、適切な企画であったと考えています。1年生の皆さん、短い間でしたが、この出会いに感謝します。皆さんが健康で本学を卒業し、立派な看護師になられることを祈っております。

科目名：看護学概論

(看学科第1学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：58 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.9	4.7	4.5	4.1	4.1	4.3	4.3	4.4

*評価に対するコメント

看護学概論担当教員

今後の学習意欲 4.3、全体の満足度 4.4 ということで一定の評価を得ることができました。アクティブラーニングで講義を進め、学生自身が主体的に学べたと考えています。レポート評価はできるだけ早く行い、速やかなフィードバックに努めます。2年生になってもしっかり学習に取り組みましょう。

科目名：人間生涯発達論

(看学科第1学年通年／必修)

履修者数：59 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.6	4.3	3.8	4.0	4.1	4.1	4.2

*評価に対するコメント

人間生涯発達論担当教員

評価結果を昨年度と比較すると、「問7今後の学習意欲」は4.3から4.1、「問8全体としての満足」は4.3から4.2と概ね変化なく、評価は低くないと判断します。その中で、今年度は「問4授業を理解するための努力」が2.9から3.8と大幅にアップしていました。学生の皆さんの自己学習が授業の高評価につながったのではないかと考えます。今後も、この姿勢で学習を継続して欲しいと思います。

科目名：地域看護学

(看護学科第1学年後期／必修)

履修者数：59 配付数：59 回収数：54 回収率：91.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.7	4.7	4.4	4.1	4.1	4.2	4.3	4.3

*評価に対するコメント

地域看護学担当教員

1年次に地域で活動する看護職の活動を学ぶインタビューを通して、実践から学ぶ機会を設けています。

内容は、病院の医療連携室からみた入退院支援の実際、療養者と家庭で関わる訪問看護、保健所や市町村の保健師活動、学校保健、産業保健と多岐にわたり、看護職としての姿勢などの学びが得られています。皆さんが報告会で学びを共有することで視野の広がりもありました。お疲れ様でした。実施方法として、市外も含め様々な場所に行くため、移動の大変さや費用面の負担についても意見をいただきました。来年度は学生の希望調査を取り入れた配置調整や、遠方はオンラインを活用するなどさらに工夫していきたいと思います。色々なことに興味を持ち、楽しく学んでいただけたらと思います。

科目名：地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）

（看学科第1学年通年／必修）

履修者数：59 配付数：59 回収数：56 回収率：94.9%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.7	4.8	4.5	4.1	4.4	4.5	4.4	4.5

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）担当教員

地域包括ケアに関する用語についてグループで調べたことを発表した後に、地域で活動している講師の講演を聴講し、理解を深めた。また、各地区の地域特性把握に出向き検証して成果発表を行うことができた。自身の担当地区について把握できたことに加えて他の地区のことも2年生との合同授業を含め視野が広がった。さらに、地域活動に出向き、経験から学びを積み、看護職を目指す学生から貢献できることを主体的に学習できた。

科目名：薬理学

(看学科第2学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：57 回収率：95.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.2	4.3	3.7	3.2	3.5	3.3	3.4	3.7

*評価に対するコメント

薬理学担当教員

アンケート結果を見ると、科目全体の難易度が適切ではなかったと答えた学生がいたので、わかりやすくするために講義内容の見直しをしたいと思います。一方で、予習・復習をあまりしていないと答えた学生もいた。薬理学に限らずどの教科も、少しでもいいから予習をすると理解がしやすくなる。さらに、講義後の復習は知識の定着に非常に有効なので、是非行ってほしい。

薬理学は、単位を修得したから終わりではなく、これからが大事である。かぜ薬や頭痛薬、湿疹の塗り薬など、まずは自分あるいは家族の普段使っている薬物がどのようにして効いているのか、考えてみて欲しい。どの診療科でも薬物は使われるので、この取り組みはきっと役に立つと思う。

科目名：臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）

（看学科第2学年後期／必修）

履修者数：60 配付数：59 回収数：53 回収率：89.8%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.4	3.9	3.6	3.8	3.9	4.1	4.1

*評価に対するコメント

臨床病態治療学Ⅱ（内科・外科系疾患）担当教員

新カリ開始後4年目を迎える臨床病態治療学Ⅱでしたが、全体の満足度の評価平均は4.1ポイントと、前年よりやや高くなりました。本年度は授業形態の急な変更などなく、開講からスムーズに進行したと思います。次年度も安定して興味深い内容を提供したいと思います。

科目名：保健統計

(看学科第2学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：57 回収数：52 回収率：91.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.2	3.6	3.4	3.6	3.5	3.4	3.4

*評価に対するコメント

保健統計担当教員

保健統計は通年の講義ですが、今年度は最終講義から試験まで日程が開いてしまったことと、試験当日の準備が他の用事と重なりそのため開始時間が間に合わず大変な迷惑をかけて島ました。この場を借りてお詫びします。今年度の状況を勘案し、次年度では学習状況に合わせた講義を展開していきたいと思ひます。

科目名：公衆衛生論

(看学科第2学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：45 回収率：75.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.1	4.3	3.7	3.3	3.7	3.8	3.5	3.7

*評価に対するコメント

公衆衛生論担当教員

公衆衛生論は、医療制度や法規が毎年変更するので、講義内容もそれに合わせて変更していますが、講義の範囲も広がってくるので、それを覚える学生も大変だと思います。評価では予習の点が他の項目に比して低い傾向がみられますので、次年度では予習にも力が入るような講義の構成を考えてみようと思います。

科目名：臨床心理学

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：56 回収率：93.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.0	4.3	3.6	3.2	3.6	3.8	3.7	3.9

*評価に対するコメント

臨床心理学担当教員

今年度から教室での対面授業に戻り、以前のようにグループワークや演習などを取り入れることができましたが、学生にとっての適切な難易度、満足度は昨年よりも低下した結果となっています。臨床心理学も日々変化・発展しているものであり、学問の基礎は抑えながらも、その時代のニーズに合った授業内容を意識しながら、学生の学びを進めていきたいと思っています。

科目名：看護フィジカルアセスメント

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：58 回収数：46 回収率：79.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
4.1	4.8	4.4	4.0	4.0	3.9	4.2	4.1

*評価に対するコメント

看護フィジカルアセスメント担当教員

科目の満足度について4.1の評価(回収率79.3%)であり、科目の企画は概ね良好であったと考えます。授業の出席(4.8)、授業内容の理解のための努力(4.0)、授業の復習・宿題(4.0)の取り組みにより、到達目的の最終達成が4.0という結果に至ったと考えます。授業ごとに事前課題・事後課題を提示していますが、どのような内容のものかあらかじめ知りたいという意見がありました。みなさんが主体的に学習できるように科目開講時に具体的内容をお知らせするなど検討します。

科目名：看護倫理

(看護学科第2学年後期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：55 回収率：91.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.7	4.5	4.1	3.8	3.9	3.9	3.9	4.2

*評価に対するコメント

看護倫理担当教員

各問の得点は3.7～4.5と高く、学生のみなさんが積極的に学習に取り組んだ結果と言えます。自由記載には複数の学生からグループワークならびに演習で行った抑制体験の有用性について触れられており、今後も継続していこうと考えています。指摘のあったテーマの偏りについては改善をし、より多様なテーマで倫理的感受性を高めることにつながる授業となるように努力します。

科目名：地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）

（看学科第2学年通年／必修）

履修者数：60 配付数：60 回収数：50 回収率：83.3%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.5	3.8	3.5	3.9	3.9	3.8	3.9

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）担当教員

この科目では、住民の方々の生活を理解するためにインタビューを行いました。学生自身が住民の方のもとへ出向き、生活の場の雰囲気を感じたり、環境も捉える大切さを学んでいたと思います。

地域活動への参加は日程調整の難しさがある中で、皆さん、頑張って参加していたと思います。通年科目で15コマが散りばめられており、スケジュール管理も大事になる科目ですので、課題に合わせて自分なりに年間スケジュールを見通しながら学んでいただけるとよいと思います。3年次の学習にもつなげてください。

科目名：高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）

（看学科第2学年後期／必修）

履修者数：60 配付数：59 回収数：51 回収率：86.4%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.5	4.1	3.7	4.0	4.2	4.1	4.2

*評価に対するコメント

高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）担当教員

前年度の回答数は約半数であったが、今年度は86%の回収率であり、受講者全員の評価を反映しているものと考えます。問8の科目に対する満足度は4.2、問5の達成度は4.0であったため、概ね良好な評価であった。しかし、前年度の評価を踏まえ、予習及び復習に関しレポート課題などを実施したが、3.0点台と低い評価であったため、次年度に向けて本科目の理解を深化できるように、引き続き科目構成を検討していきたい。

科目名：小児看護学

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：50 回収率：83.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.4	4.0	3.7	4.0	3.9	4.0	3.9

*評価に対するコメント

小児看護学担当教員

講義企画に対する評価は4.0前後であり、学生にとって概ね満足できる内容であったと考えます。その中で、「問3授業中に授業内容を理解するための努力」は高評価でした。小児看護学を学び、子どもとその家族を理解することは、現代の少子社会において欠くことのできないものです。学生時代に学んだことは長く心に残りますので、今後もその努力を継続し、自らが学ぶ姿勢というものを定着させて頂きたいと思っております。

科目名：母性看護学

(看護学科第2学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：56 回収数：47 回収率：83.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.5	4.1	3.5	3.7	3.7	3.9	3.9

*評価に対するコメント

母性看護学担当教員

回収数 47 部で昨年度 29 部に比して回収率 83.9%へ上昇し、一定の信頼性が得られる学生評価と言える。“全体として満足できる”が昨年と同じ 3.9 ポイントであり、学生から科目への一定の評価は得られたと考えるが、さらに満足度のアップにつながるよう努力する。

「事前の予習」「復習・宿題を毎回した」の回答のみ 2 点と 1 点の評価があり、予習・復習を想定した授業や manaba の活用をさらに検討していく。

科目名：精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）

（看学科第2学年後期／必修）

履修者数：60 配付数：48 回収数：35 回収率：72.9%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.5	3.9	3.5	3.7	3.6	3.8	3.8

*評価に対するコメント

精神看護学Ⅱ（精神症状と看護の展開）担当教員

精神看護学Ⅱは臨地実習を想定し、精神障害を有する人の生活や人生まで関連づけて事例を展開しています。授業評価から、学生に求める知識量が増えてしまい、詰め込み型の授業になっているのではないかと振り返ります。最近教育にAIも浸透してきているので、知識の獲得は予習などを活用し自己学習を重視し、授業では「考える」ことを中心にした内容を検討していきます。

科目名：疫学

(看学科第3学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：26 回収率：43.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.5	4.3	3.5	2.8	3.4	3.4	3.2	3.5

*評価に対するコメント

疫学担当教員

疫学は保健統計と同様に医学科社会医学講座の先生に協力をお願いしオムニバスで行っています。評価では特に大きな問題はない結果でしたが、予習・復習を行わない学生が2割ほどいるのが気になります。次年度はmanabaを用いて予習・復習ができる環境をつくり、学生の学習に役立てたいと思います。

科目名：地域包括ケア論Ⅲ

(看学科第3学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：59 回収数：47 回収率：79.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.8	4.6	4.2	3.8	4.2	4.2	4.1	4.2

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅲ担当教員

地域包括ケア実習でのセミナー経験を生かして、4年生とともに新たな地域活動実施について計画を立てることができていました。主体的に取り組んだ姿勢が高い満足度と学習意欲に反映したと考えています。

科目名：看護研究

(看護学科第3学年通年／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：23 回収率：38.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.5	4.0	3.8	3.6	3.6	3.7	3.7

*評価に対するコメント

看護研究担当教員

看護研究は、4年生で行う研究の計画書を作成することが重要な課題となります。学生の指導には看護学科の全教員が配属された学生の指導を行いますが、概ね良好な評価が得られています。次年度では4年生の卒業研究をよりスムーズに移行するための制度を確立させて学生の講義に対するモチベーションが上がるようにしようと考えています。

科目名：地域包括ケア論Ⅳ

(看護学科第4学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：50 回収率：82.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.7	4.7	4.0	3.3	4.1	4.0	3.8	4.0

*評価に対するコメント

地域包括ケア論Ⅳ担当教員

4年間の地域包括ケア論での学びを通して、看護学生、そして今後は看護職としてどのように地域包括ケアシステムに携わっていくかをしっかりと考えることができたと思います。学習意欲や満足度について高い評価があったことはみなさんの学習活動と地域活動参加が能動的であったことの表れと考えます。卒業してからもそれぞれの立場から地域包括ケアに関わっていただくことを期待しています。

科目名：卒業研究

(看護学科第4学年通年／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：56 回収率：91.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.9	4.5	4.1	3.5	3.8	3.7	3.8	3.9

*評価に対するコメント

卒業研究担当教員

3年生で研究計画を立案し、引き続き4年生で研究計画を見直し、データ収集、分析、考察から結論を導き出す過程を学修した。研究対象者は、看護職、大学病院職員、学生など様々な人にご協力を頂いた。研究テーマは新型コロナウイルス感染の影響に関して複数あり、また、病院や地域など多岐に渡る研究活動を積極的に行っていた。卒業研究発表時に3年生4年生の評価から旭川ウェルビーイング・コンソーシアムで3演題発表し受賞した。

科目名：看護教育論

(看護学科第4学年通年／選択必修)

履修者数：8 配付数：8 回収数：6 回収率：75.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.3	5.0	3.8	3.5	3.7	4.0	4.2	4.3

*評価に対するコメント

看護教育論担当教員

看護教育論は、4年生の選択必修科目であり、少人数ということもありディスカッションが活発に行われます。学生は非常に接触的に受講しており、15回の授業は欠席がゼロでした。授業評価からは、学生一人ひとりが履修目的を達成したことがうかがえます。来年度も引き続きアクティブラーニングを中心に授業を展開していこうと考えています。

科目名：医療経済・看護経営論

(看学科第3・4学年通年／選択必修)

履修者数：32 配付数：27 回収数：23 回収率：85.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
2.8	4.5	3.5	3.1	3.3	3.1	3.2	3.0

*評価に対するコメント

医療経済・看護経営論担当教員

選択科目として32名が今年度は受講しました。学習意欲は3.2、全体の満足度が3.0と低い結果となった要因としては、突然の休講、さらに過密時間割の中で補講日程の確保に難渋したことがあると分析します。予習のしにくさもあったと思いますので、講師と相談し、改善に努めます。

科目名：家族看護論

(看学科第3・4学年通年／選択必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.4	4.8	4.3	3.7	4.1	4.2	4.1	4.2

*評価に対するコメント

家族看護論担当教員

今年度はグループワークを取り入れました。それに対し、グループ内において各メンバーの作業量が異なったのにグループ全体で評価されることへの不満がありました。グループでそうならない努力をして欲しいと思いますが、個人を評価する項目もあって良いと考えました。その他では、テーマを自分たちで選択したい、全体会の時間配分が不適切で学習意欲が低下したという意見もあり、改善したいと思います。問8「全体としての満足」は4.2であり、概ね学生にとって満足が得られた授業であったと評価します。

科目名：認知症ケア論

(看学科第3・4学年通年／選択必修)

履修者数：39 配付数：38 回収数：36 回収率：94.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.9	4.5	4.2	4.2	4.1	4.3	4.3	4.5

*評価に対するコメント

認知症ケア論担当教員

本科目の回答率は95%であり、学生の評価を十分に反映したものと判断できる。例年通りVRによる認知症高齢者の疑似体験が好評であり、満足度は4.5と高かった。グループホームのケアマネージャーや訪問看護ステーションの看護師から、施設と在宅における認知症高齢者の事例を提供していただき、環境の異なる認知症看護について学べたことも本評価に繋がっていると考える。また、認知症看護について自主学習し、発表会を行うことにより、講義に関連した予習復習と講義への意欲的な参加に繋がったと考える。次年度も臨地実習に繋がる実践的な認知症看護の講義を計画していきたい。

科目名：クリティカルケア論

(看学科第3・4学年通年／選択必修)

履修者数：39 配付数：38 回収数：37 回収率：97.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8
3.5	4.8	4.2	3.8	4.1	4.3	4.3	4.3

*評価に対するコメント

クリティカルケア論担当教員

この科目は、第3学年後期開講の選択必修科目である。成人看護学の全教員による講義と学内特別講師（認定・専門看護師）の講義では、臨床における最新のクリティカルケア領域の看護を教授している。そのことが学生から良好な評価を受けた要因だと考えられた。